

## 東洋医学の講義が東女医大学生に及ぼす影響について

東京女子医科大学 附属東洋医学研究所

ナカノ	ヨリコ	アライ	マコト	カワゴエ	ヒロフミ
中野	頼子・新井	信・川越	宏文		
ヤマウラ	ヒサシ	サトウ	ヒロシ	シロタ	フミヒコ
山浦	常・佐藤	弘・代田	文彦		

(受付 平成7年8月24日)

## Effects of Lectures on Oriental Medicine on Medical Students

**Yoriko NAKANO, Makoto ARAI, Hirofumi KAWAGOE, Hisashi YAMAURA,  
Hiroshi SATO and Fumihiko SHIROTA**

The Institute of Oriental Medicine, Tokyo Women's Medical College

Few lectures on Oriental Medicine are given at medical colleges. The Institute of Oriental Medicine was initiated at Tokyo Women's Medical College in 1992 and lectures on Oriental Medicine have since been delivered. We conduct research on the effects of Oriental Medicine lectures.

We requested that fifth and sixth year students at Tokyo Women's Medical College answer our questions about Oriental Medicine. We gave the fifth year students, but did not the sixth year students, lectures on Oriental Medicine. Eighty percent of the fifth and sixth year students had an interest in Oriental Medicine and appreciated the lectures. The fifth year students learned Oriental Medicine and wanted in the future to prescribe Kampo formulations more than did the sixth year students. All of the students answered that some patients needed Oriental Medicine and many students thought that Oriental Medicine would be of great benefit henceforth. Many students had images of improving our health, treating chronic disease and of traditional medicine as Oriental Medicine.

It is important for medical students to be educated regarding Oriental Medicine, because they will learn both Western and Oriental Medicine and, in the future, can make the best use of the merits of each type.

## 緒 言

当研究所は1992年3月に開設され、同時に学生に対しての講義が始まった。最近、社会的に東洋医学への関心が高まっているようだが、医学生に対して体系的に東洋医学教育を行っている大学は全国でも数えるほどである。マスコミの影響もあってか、東洋医学を希望する患者が増えており、医師が東洋医学を学ぶことは必要である。今回、我々は医学生が東洋医学の講義を受けることにより、どのような影響を受けているのかを調査、検

討した。

## 方 法

1994年9～11月に本学の5年生と6年生を対象に表1のようなアンケート調査を行った。本学では教育制度が改革され、旧制度の最後の学年が当時の6年生で、新制度の最初の学年が当時の5年生であった。新制度になり東洋医学の講義が始まった。よって講義を受けていない6年生と講義を受けた5年生とを比較検討することで、講義が学生に及ぼす影響について検討した。統計処理は

表1 東洋医学に関するアンケート

- I. 東洋医学に興味がありますか
1. たいへん興味ある
  2. 興味ある
  3. あまり興味ない
  4. 興味ない
- II. 東洋医学がどのようなものか知っていますか
1. よく知っている
  2. 知っている
  3. あまり知らない
  4. 知らない
- III. 将来、医師になってから漢方薬を処方してみたいと思いますか
1. 漢方を専門にやりたい
  2. 西洋医学を中心に漢方でも積極的に取入れたい
  3. 西洋医学を中心に少し漢方を取入れたい
  4. 漢方薬を使うつもりはない
  5. わからない
- IV. 医学部教育に東洋医学があったほうがよいと思いますか
1. あったほうがよいと思う
  2. なくてもよいと思う
  3. どちらともいえない
- V. 漢方治療を必要としている病気の人がいると思いますか
1. たくさんいると思う
  2. いると思う
  3. あまりいないと思う
  4. いないと思う
- VI. 東洋医学は今後どうなると思いますか
1. 今後ますます重視される
  2. 現状と同じだと思う
  3. 重視はされないと思う
  4. よくわからない
- VII. 東洋医学に対してのイメージについてあてはまるものを選んでください。複数可
1. 健康促進に適している
  2. 慢性病に効果がある
  3. 伝統がある
  4. 副作用の心配がない
  5. 非科学的である
  6. 漢方薬は効き目が遅い
  7. 鍼治療は痛くて恐ろしい
  8. 神秘的
  9. 暗い
  10. 古くさい
  11. うさんくさい

$\chi^2$ 検定で行った。

## 結 果

アンケート調査は、6年生93人、5年生72人より回答を得た。その結果は以下のである。

### 1. 東洋医学に興味がありますか (図1)

6年生、5年生ともに東洋医学に興味を持つ者が多く、「大変興味がある」、「興味がある」を合せるとそれぞれ82%、89%にのぼる。有意差はないが5年生のほうがやや興味を持つものが多い傾向

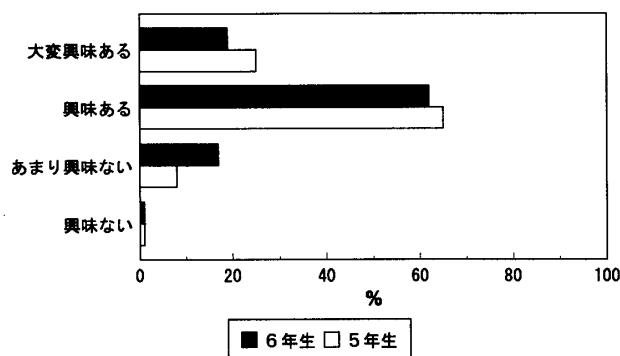


図1 東洋医学に興味がありますか

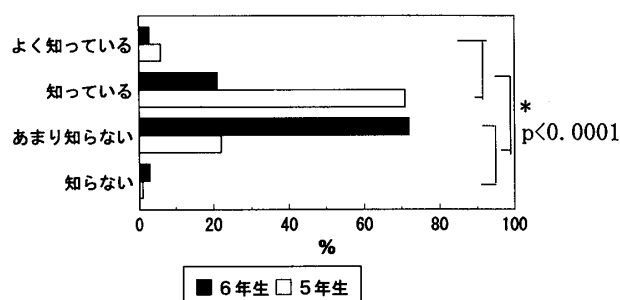


図2 東洋医学がどのようなものか知っていますか

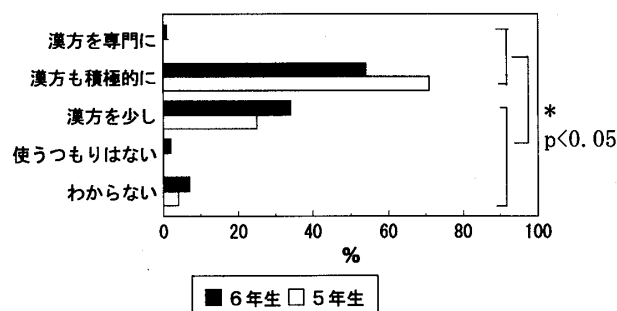


図3 将来、医師になってから漢方薬を処方してみたいと思いますか

にあった。

### 2. 東洋医学がどのようなものか知っていますか (図2)

講義を受けた5年生は「よく知っている」、「知っている」と答えたものが77%なのに対して、講義を受けていない6年生は「あまり知らない」、「知らない」というものが74%であった。有意差をもって5年生が知識を得ていた。

### 3. 将来、医師になってから漢方薬を処方してみたいと思いますか (図3)

「漢方を専門にやりたい」、「西洋医学を中心に

して漢方も積極的に取入れたい」を合わせると、6年生は55%、5年生は70%であった。一方「西洋医学を中心にして少し漢方を取入れたい」、「漢方薬を使うつもりはない」、「わからない」を合わせると6年生45%、5年生30%であり、これら2

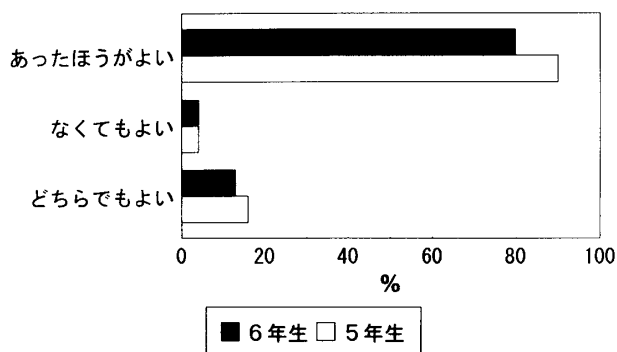


図4 医学部教育に東洋医学があったほうがよいと思いますか

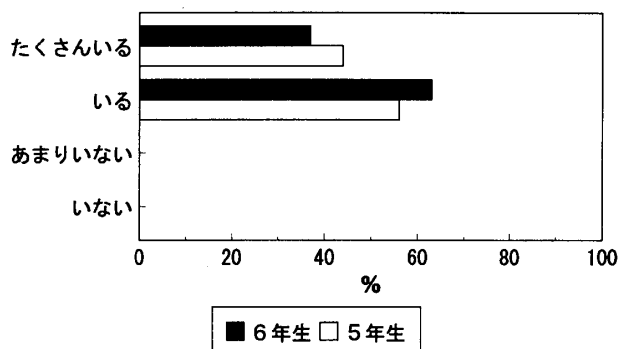


図5 東洋医学を必要としている患者がいると思いますか

群間には有意差が認められた、西洋医学を中心にやりたいものがほとんどであるが、その中でも漢方を積極的に取入れたいと考えているものが5年生に多かった。

4. 医学部教育に東洋医学があったほうがよいと思いますか (図4)

5年生は91%、6年生では80%が東洋医学教育があったほうがよいと答えている。

5. 漢方治療を必要としている患者がいると思いますか (図5)

すべての学生が「東洋医学を必要としている患者がいる」と考えており、特に5年生に「たくさんいる」と答えたものが多かった。

6. 東洋医学は今後どうなると思いますか (図6)

「ますます重視される」と答えた人は5年生で69%、6年生で62%であり、「重視されない」とい

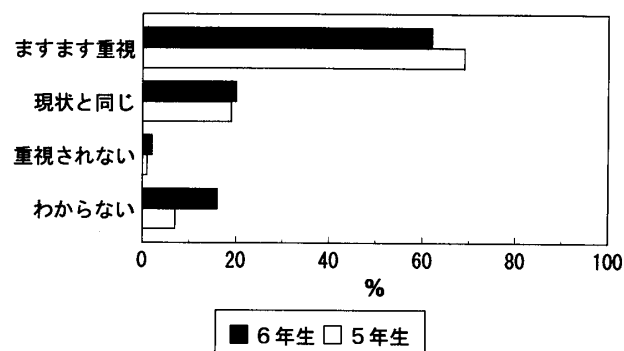


図6 東洋医学は今後どうなると思いますか

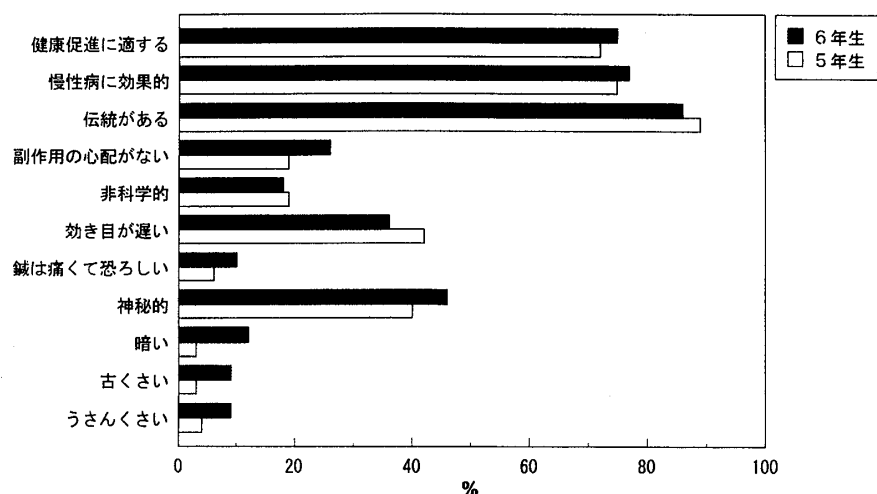


図7 東洋医学に対してどのようなイメージを持っていますか

う人はそれぞれわずか1%, 3%であった。

7. 東洋医学に対してどのようなイメージを持っていますか (図7)

「健康促進に適する」、「慢性病に効果的」、「伝統がある」などが5年生, 6年生共に80%前後と多く, 「神秘的」、「効き目が遅い」が約40%であった。「副作用の心配がない」、「暗い」、「古くさい」、「うさんくさい」などはやや6年生に多い傾向があった。

## 考 察

本学で新しい教育カリキュラムが開始され, 東洋医学が組み入れられた。今回のアンケートを行った5年生に対して行われた東洋医学の教育は, 3年生の時に講義3単位と実習1単位, 4年

表2 東洋医学教育

3年生講義 (総論)	
1. 漢方医学基礎	
1) 基礎的概念: 証, 陰陽虚実, 病位 (三陰三陽), 気血水, 病因論	
2) 診断概論: 望診, 問診, 聞診, 切診 (脈診, 腹診)	
3) 治療概論: 治療原則と薬剤の分類 (補, 瀉, 滋潤, 燥, 熱), 気剤, 駆瘀血剤, 利水剤, 治療原則, 各治療法の適応と禁忌, 瞑眩, 予後について	
4) 現代医学と漢方医学: 薬に対する考え方, 処方に対する考え方, 病因論について, それぞれの特徴, 漢方医学の役割, 両者の結合をめざして	
2. 鍼灸概論	
1) 診断概論: 臓腑, 経路, 経穴	
2) 治療概論: 鍼の種類, 灸, 取穴の実際	
3. 生薬概論	
1) 生薬の材料: 植物, 鉱物, 動物, 修治	
2) 薬性: 寒, 熱, 温, 冷, 平	
3) 五味: 酸, 苦, 甘, 辛, 鹹	
4) 薬物の相互作用: 七情	
5) 代表的生薬の作用: 人參, 甘草, 柴胡, 麻黄, 生姜, 桂枝, 大黄, 附子, 石膏	
4年生講義 (各論)	
1. 内科と漢方 (消化器)	
2. 内科と漢方 (循環器, 腎)	
3. 内科と漢方 (呼吸器)	
4. 婦人と漢方	
5. 小児と漢方	
6. 心と漢方	
7. 老人と漢方	
8. 皮膚科, 整形外科と漢方	
9. 痛みと鍼灸	

生の時に講義9単位であった。その内容は表2に示す。これらの教育を受けた5年生と全く受けていない6年生とで, 東洋医学に対する意識や考え方を比較してみた。

東洋医学に対する興味は5年生, 6年生ともに非常に高く, 教育を受けたいと望んでいる。近年, マスコミが東洋医学を取上げる機会が増えて, 社会的に関心が高まっている。学生がその影響を多少受けているとも思われるが, 「東洋医学を必要とする患者がいる」とすべての学生が答えており, その重要性を認識していることが伺われた。また「東洋医学が今後ますます重視される」と答えたものが非常に多く, 「重視されない」と考えるものはわずか数%であった。医師に対して行った漢方薬の意識調査<sup>1)</sup>で, 「今後ますます重視される」という回答が46.5%, 「重視されない」という回答が10.8%であるのに比べて学生のほうが東洋医学への期待感が強く現われていた。以上の結果は5年生と6年生で有意差は認められないものの, すべての結果を通して教育を受けた5年生のほうが東洋医学により積極的, 肯定的な意見が多い傾向にあった。

5年生は教育を受けて東洋医学がどういうものであるか多少なりとも知識を得ている。これは当然であるかもしれないが, 5年生と6年生で明確な差が現われていた。さらに医師になってから漢方を積極的に処方してみたいと思うものは有意差をもって5年生に多かった。東洋医学の特性を学び, そのすぐれた部分を自分のなかで活かそうという前向きな姿勢を持っている学生が多いようだ。

東洋医学は「健康促進」や「慢性病」によく, 「伝統がある」というイメージをもつものが多いが, 「副作用の心配がない」というやや誤った考えや「神秘的である」というような意見もあり, また「鍼は怖い」、「暗い」、「古い」、「うさんくさい」などの意見もあり, それらは6年生にやや多い傾向にあった。

以上は3年生, 4年生ですでに講義を受けた5年生に行ったアンケート結果より得られたものである。東京女子医科大学ではさらに5, 6年生の

病院実習で希望グループに1週間の東洋医学実習が行われている。実習では実際に外来を見学したり、生薬、診断、東洋医学の考え方など理解をさらに深め、実習後には学生はますます東洋医学に興味を示すようである。今後は実習も終えた学生にも調査を行うことにより、さらに積極的な意見が得られるのではないかとと思われる。

### 結 論

1. 本学の学生は東洋医学に非常に興味を持ち、教育を希望するものが多い。今後東洋医学が重視

されるという考えも多く、医学部教育に東洋医学の必要性が高いと思われる。

2. 学生は東洋医学教育を受けることにより知識を得て、将来積極的に漢方を取入れたいと考えるものが増加する。東洋医学教育は漢方の正しい理解と普及に役立つものと思われる。

### 文 献

- 1) 調査、漢方薬'93—漢方薬を使用している医師は76.8%、6割が漢方薬導入を積極的評価—。日経メディカル。9月10日号別冊付録：30-35, 1993